

石中だより



花巻市立石鳥谷中学校

校報 NO 16

令和6年9月12日発行

文責 校長 千葉龍太郎

吹奏楽部がコンサートで活躍～石鳥谷まつり～

地域に感謝し、地域を盛り上げる石中～Ishichu Pride 2024 Summer



9月10日（火）、石鳥谷まつりで本校吹奏楽部が恒例のミニコンサートを披露し、お祭りを盛り上げました。まだまだ暑い中ですが、地区大会金賞のバンドは元気に活動しています。石鳥谷まつりはコロナで規模縮小をしていましたが、今年は生徒の参加者も急激に増えました。それに伴い、休日を一日設定して対応しています。次年度からも、まつりに応じた年間計画を立てていければと考えています。

ただし、学校として必要な授業日数の関係もありますので、いろいろご理解して頂ければ幸いです。先日の『夢まつり』では応援団と3年有志が石中太鼓と石中ソーランで地域を盛り上げましたが、吹奏楽部もがんばっています。

『わたしの主張花巻大会』2024～3年生全員で成功させました～

9月11日（水）花巻市定住交流センター（なはんプラザ）COMZホールにて令和6年度の「わたしの主張」花巻大会が開催されました。この大会は以前、市内の学校の体育館を会場として持ち回りで開催していましたが、昨今の猛暑を考慮して、本年度から冷房のある施設での開催に変更されました。実行委員長の鎌田幸也氏（花巻市青少年育成市民会議会長・本校OBでもあります。）をはじめとする関係者の方々のご配慮があったことでした。11日は熱中症アラートが発令される猛暑となり、本校では部活動を停止するほどの暑さでしたが、**オーディエンスとして参加した3年生は、快適に集中して、立派な態度で発表を聞くことができました。**生徒の健康面を考慮しても会場変更して本当によかったと思います。

本校からは2名の発表者が参加。藤原賢真さんは「背中を押してくれるもの」という演題で、自分の好きな音楽アーティストから受けた影響についての発表をしました。トップバッターでしたが、堂々としたいい声での発表でした。畠山真莉華さんは「貧しさを豊かさに変えるためには」の演題で、日本の貧しい国への海外支援が与える影響についての考察を発表しました。こちらも、よく通る声での迫力ある発表態度でした。

また、今年は本校が運営の担当校でしたので**司会進行を高橋知里さん、高橋佑奈さん**が務めました。

また、**運営リーダーとして継枝利優さん**が激励のあいさつや審査員の補助を担当しました。とても立派な仕事ぶりで、今後の新しい大会のモデルとなりました。

た。本校3年生の成長を誇りに感じた大会でした。



【校長室より】2学期が本格的に開始しています。陸上大会、駅伝大会、本日紹介したような文化的行事、新人戦、文化祭、生徒会役員選挙と様々な行事が続きます。**行事をただこなすのではなく、また、勝敗等の結果に一喜一憂するのではなく、**生徒たちの挑戦する気持ちを大切に、体験・経験による学び、成長を大切にしたいと思います。個性を輝け！と願っている校長です。